

令和 7 年度 施政方針

令和 7 年 2 月

広島県府中市

令和7年度施政運営の基本方針及び施策の概要

暮らしを守り、賑わいを創る ～持続可能なまちづくりにむけて～

1. はじめに

日本経済には、三十三年ぶりの高水準の賃上げと過去最大規模の設備投資が実現するなど明るい兆しが見られますが、全ての世代の現在及び将来にわたる賃金・所得の増加が物価上昇を安定的に上回ることで、賃上げと投資が牽引する成長型経済を実現していく必要があります。

国においては、「国民の安心・安全と持続的な成長」が謳われているところであり、本市においても「暮らしを守り、賑わいを創る～持続可能なまちづくりにむけて～」をテーマに市民の安心・安全と持続的な成長を目指します。

具体的には、総合計画の基本目標に掲げる取組を着実に進め、加速する人口減少に立ち向かっていくため、充実した子育て支援策を継続するとともに、まちを元気にするため、今年新しく完成するB&G海洋センターをはじめとする駅周辺の賑わい創出に取り組んでいきます。

同時に、財政は市の信頼の礎であり、本市を取り巻く諸課題に的確に対応するため、歳出・歳入両面の改革を着実に推進し、本市の信用や市民生活を守るための財政基盤を平時より備えることが不可欠です。

現在の本市の財政は一段と厳しい局面を迎えており、現状のままの財政運営を継続した場合には、令和8年度には市の貯金がなくなるという状況であったことから、市民サービスの低下を招かぬよう最大限配慮したうえで、「持続可能な財政運営プラン」を策定いたしました。このプランで示した枠組みの下、早期のプライマリーバランスの黒字化を実現するため、さらなる財政健全化に取り組んでまいります。

2. 総合計画に掲げる5つの基本目標にかかる取組

【基本目標1】力強い産業が発展するまち

本市の力強い産業を実現するためには、本市の産業を牽引してきた製造業において、その大部分を構成している中小企業に対して、経営基盤の強化や人材確保に向けた取組への支援が必要です。

経営基盤の強化に向けては、DX導入による効率化や生産性向上・自動化の促進など、製造品出荷額の増加に向けて支援を行うとともに、販路開拓支援については、より多くの事業者支援ができるよう制度を見直します。

人材確保に向けた取組としては、昨年度新たに府中市単独での合同企業説明会の開催など、引き続き企業のニーズに合わせた支援を行っていきます。

また、農業においては、農業振興ビジョンに掲げる取組を進めることで、「稼ぐ農業」の実現に向けて取り組みます。

特に、農業振興の重点課題でもある鳥獣害被害の防止に向けて、新年度から新たに広島県鳥獣被害対策等地域支援機構（通称テゴス）に参画し、本市の鳥獣被害の実態把握から、現地での効果的な対策指導などに力を入れていきます。

また、担い手確保に継続的に取り組むとともに、スマート農業への支援や地域資源循環型農業に向けた有機堆肥の利用促進を図ります。

●令和7年度重点事業

- ・ 農業振興ビジョンの実現に向けて

【基本目標2】人・つながりが育つまち

昨年4月に、民間の有識者で構成される「人口戦略会議」が発表した「消滅可能性自治体」には本市も該当しており、2050年までの30年間で若年女性人口が半数以下になることが要因とされています。

こうした厳しい状況の中、地域の魅力向上や子育て支援の充実を図り、若年世代へ訴えることで、市外からの転入促進と転出抑制に繋げていく必要があります。

そのためにもまずは妊娠・出産から子育てをトータルで力強く支援することで、「子育てにやさしいまち府中」として選んでいただけるよう、これまで実施している0歳児からの保育料無償化やこども医療費助成の拡大といった子育て

世帯への経済的支援を継続していきます。

また、令和7年度からこどもの発達や健康状態を総合的に確認し、必要な支援を早期に提供することを目的に、子育てステーションちゅちゅで5歳児健診をスタートさせます。小児科医師・心理師・保健師・保育士等、府中市が持つ人・施設のリソースを最大限に生かして取組を進め、府中市のこどもがすこやかに成長し、就学に向けた準備が整うようサポートしていきます。

さらに、令和2年度から開始したこどもの予防的支援事業は、児童虐待を早期発見し未然に防止するために市役所庁内のこどもに関連したデータを統合し予測するシステム構築を令和6年度で完了し、令和7年度から本格運用いたします。これまで以上に、福祉部門と学校・教育委員会をはじめとした関連組織との連携体制を強化し、未然防止に努めて参ります。

教育においては、学力向上を通じて未来を拓く力を育てるため、「学力」と「学びに向かう意欲」の向上に取り組めます。

具体的には、市内の全校、全学年を対象に統一した学力調査を継続して取り組むことで、児童生徒の学力の課題等を把握し、個別の支援に活用してだけでなく、課題を各校の教職員が共有し、連携グループを組織することで指導力の向上及び授業改善につなげていきます。

また、市内中学校体育館に空調設備を整えることにより、夏季の高温による影響を軽減し、適切な教育環境を整えるとともに、災害時の避難場所や避難所としても安全・安心な環境を作ります。

●令和7年度重点事業

- ・ 子育て支援の推進
- ・ 「未来を拓く！」府中市学力向上事業
- ・ 市内中学校体育館空調設備整備事業

【基本目標3】活気・賑わいを生むまち

駅周辺に賑わいを創出するために、本市では新B&G海洋センターや道の駅、i-coreFUCHUといった、多くの人が利用する施設や地域の特性を生かした施設を整備していき、さらにはイベントの開催などが可能な新しい空間の整備を行うことで、このエリアから生まれた賑わいが市内に広がっていくことを目指しています。

そうした中、今年7月に開業予定の新B&G海洋センターにおいては、スポー

ツ施設としての利用だけでなく、市民や本市で働く方々の健康増進に寄与する施設として、さらには周辺施設との連携により、新たな人の流れをつくる施設としての役割が期待されており、この新たに生まれる人流をターゲットに、道の駅北館を短期間レンタル可能なチャレンジショップとすることで、ビジネスチャンスを生み出すとともに、本エリア来訪者に向けたサービスの向上、コンテンツの充実を図っていきます。

併せて、市内外の利用者から好評を博している恋しきについては、周辺施設と連携の上一層の充実を図ることで賑わいを創出していきます。

また、上下エリアにおいては上下運動公園を拠点としてスポーツから生まれる賑わいを地域の観光に繋げていきます。

●令和7年度重点事業

- ・ 駅周辺を中心とした賑わいづくり
- ・ スポーツを活用した賑わいの創出

【基本目標4】安全・安心が持続するまち

高齢化が進む中、市民が安心して暮らせるようにするため、健康寿命の延伸と地域共生社会の構築に向けた取組に力を入れていく必要があります。

まずは市民が利用しやすい窓口とするため、高齢者と身体・知的障害者の相談窓口一元化や健康増進部門と介護予防部門の一元化といった業務体制を見直すことで、市民に寄り添った窓口にしていきます。

新たに策定した第3次健康ふちゅう21で掲げている健康寿命の延伸に向けて、ライフステージに応じた生活習慣及び社会環境の改善に取り組むことで、市民の健康推進を図っていきます。

また、市民の安全な暮らしを守るためには、近年の激甚化する災害に備えることはもちろん、全国でも問題となっているインフラの老朽化対策が喫緊の課題となっています。

本市においても、市民を災害から守り、安心して暮らすことができるように、平成30年7月豪雨の際に市内各所で発生した内水浸水被害のうち、特に被害の大きかった地域における浸水対策として中須ポンプ場の整備を行うとともに、老朽化する道路や橋梁についても適正な管理を行い、安全に利用していただけるように努めてまいります。

●令和7年度重点事業

- ・健康寿命の延伸
- ・浸水対策事業

【基本目標5】ICT都市ふちゅうの実現

行政にICTを導入することは、市民が利用する窓口の利便性の向上だけでなく、事務の効率化による生産性の向上やデータ分析の強化に繋がるため、様々な分野において導入が求められています。

本市においても、窓口サービスの向上を目的に、これまでも各種証明書のコンビニ交付サービスやリモート相談システムなどを導入しているところですが、新たに市民の利便性の高い手続における電子申請の展開や公共施設の空き状況の確認、申請等の手続がオンラインで可能になるシステムを導入します。

併せて、使用料等の支払い方法として、キャッシュレス決済を導入することで、インターネットを通じて24時間いつでもどこからでも施設の空き状況を確認し、予約や決済ができる仕組みを構築します。

●令和7年度重点事業

- ・公共施設の手続オンライン化

【方針】将来像を実現するための行政経営の方針

頻発化・甚大化する災害への対応、あるいは重点事業への積極投資などにより、平成30年度以降、その財源として財政調整基金を取り崩す財政運営が続いています。

このまま打開策を打つことなく、歳出超過分を今後も財政調整基金で補填し続ければ、令和8年度には財政調整基金がなくなり、災害など不測の事態への迅速な対応が困難になることから、新たに「持続可能な財政運営プラン」を策定し、財政再建に取り組むこととしました。このプランでは歳入歳出両面からの事業見直しによる早急な収支均衡化を基本として、行政組織のスリム化、職員数の抑制と適正配置などの行政改革も同時に進めることで、財政調整基金に頼らない財政構造を目指します。

●令和 7 年度重点事業

- ・ 持続可能な財政運営プラン

3. さいごに

府中市に住む人の暮らしを守り、賑わいを創り、持続可能なまちづくりを実現するためには、この度お示しした財政運営プランの実行が不可欠であると考えております。市民の皆様、企業の皆様におかれましては、ご心配ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、皆様のお力添えをいただきながら、職員一丸となって取り組んでいきたいと考えております。

最後になりましたが、今後とも府中市行政に対し、格別の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和 7 年 2 月 25 日

府中市長

小野 申人